

## 令和3年新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。  
会員の皆様には、御家族ともども穏やかな新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域における交通安全活動が制限される中、各種交通安全活動の推進に深い御理解と多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年中の県内における交通情勢につきましては、新型コロナウイルス禍における社会活動の自粛等も影響し、人身交通事故の発生件数、死傷者数ともに平成27年実績より25パーセント以上減少し、第10次群馬県交通安全計画の目標を達成したところであります。

特に死者数にあっては、45人と前年対比で16人の減少となり、統計開始以降最少の死者数となりました。

しかしながら、高齢化の進展により、交通事故死者数のうち高齢者の割合が依然として過半数を占めているほか、高齢ドライバーが加害者となる重大事故が増加傾向にあるなど、依然として厳しい交通事故情勢にあると認識しております。

本年は、第11次群馬県交通安全計画の初年であり、引き続き人身交通事故の発生件数、死傷者数の減少に向け、組織一丸となって各種交通安全対策を推進していく所存であります。

特に、高齢者の事故防止対策を重点として、女性部を中心に各地域における「高齢者宅家庭訪問」による交通安全指導をはじめ、交通安全教育車「ふれあい号」を活用した出前式交通安全教育など、県及び警察をはじめ、関係機関・団体と緊密な連携の下に、地域に密着した効果的な交通安全対策を強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましてはより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多い年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和3年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会

理事長 町田 錦一郎